

防災かわら版

2015.3
第2号

発行元
佐伯市
防災危機
管理課

第19回防災まちづくり大賞

総務大臣賞受賞

米水津の「宮野浦むらの覚悟委員会」が第19回防災まちづくり大賞にて総務大臣賞を受賞しました。



表彰式の様子（表彰を受ける宮脇代表）

宮野浦地区は、住民400名に
対して、水産加工施設の従業員

数も約400名という状況で、地震・津波に対する防災対策は住民だけでなく、施設に勤務する人々に対しても急務とされてきました。

来たるべき大災害から住民を守りたいという地区役員と、従業員を守りたいという水産加工施設の経営者が協力し、「今のうちに何らかの対策をしておかなければこの地区とこの産業そのものが消滅してしまう」という思いが同じ「覚悟」となり、「むらの覚悟委員会」が設立されました。
この委員会では、地区内における危険箇所の検証（防災マップ作成）や、冊子「むらの覚悟」

の発刊、住民参加型「持ち寄り方式」による備蓄品の収集活動、独自の避難訓練、避難所体験等様々な活動を実施しています。



住民の方々が持ち寄った備蓄品

防災スピーカーの 再聴サービスについて

佐伯市や消防署からの防災スピーカーによる一斉放送を聞き逃した場合、放送された内容を電話で確認することができます。

電話番号 20-3555

なお、振興局からのお知らせについては、再聴サービスの対象ではありません。

さいきほっとメール

携帯電話やパソコンのメールアドレスを登録した皆さんに、防災情報などをメールで配信する「さいきほっとメール」を配信中です。

登録はお持ちの携帯電話やパソコンから「e@hot.saiiki.jp」へ空メールを送り、折り返し届くメールの案内に従って登録するか左のQRコードを読み込んで登録してください。



詳しい登録方法は市報さいき3月1日号をご覧ください。

直川小学校で防災学習が行われました。

平成27年1月19日(月)に直川小学校3学年(11名)が「防災学習」を行いました。

防災学習では、佐伯市防災危機管理課職員の「防災講話」、佐伯市防災士会女性防災士による「防災紙芝居」「防災ダンス」の後、佐伯市防災士会直川支部が、「段ボールトイレ」作りを行いました。



女性防災士による防災紙芝居

大災害時は、避難所で過ごす際にトイレが足りなくなると言われており、避難所で材料がそろい易く簡単に作ることでできる「段ボールトイレ」が役に立つと言われていきます。



段ボールトイレ作りの様子

また、砂土のう・水土のう・プランター土のうなどの様々な土のうについて、防災士から説明があり、身近な物で災害時の対応ができることなどを学習していました。

佐伯市津波対策用備蓄倉庫設置事業について

佐伯市では地震、津波等の発生に備え、避難地等において必要な物資を備蓄するため、津波対象地域の自主防災組織が津波避難地等に備蓄倉庫を

設置する経費に対して補助を行っています。

平成27年度に設置を希望される自主防災組織は防災危機管理課にご相談下さい。

佐伯市防災危機管理課

電話番号 22-4567

佐伯市津波対策用備蓄倉庫設置事業実施状況

地域区分	H25		H26	
	実施組織	設置棟数	実施組織	設置棟数
市全体	16	21	38	46
佐伯	8	8	23	29
佐伯			1	3
渡町台			1	1
佐伯東			1	4
上堅田	1	1	3	3
鶴岡	1	1	5	5
大入島			6	6
八幡	4	3	5	6
西上浦	2	3	1	1
下堅田	1	2		
木立	1	2		
上浦	1	1	1	1
鶴見			8	8
米水津	4	7	2	3
蒲江	1	1	4	5

※山間部の振興局管内及び青山校区は津波影響地域でないため、本事業の対象ではありません。